

平成25年度第2回南相馬市事務事業事前評価結果

| | | | | |
|---|-------|-----------------|-----|---------------|
| 1 | 事務事業名 | わんぱくキッズ育成施設整備事業 | 担当課 | 健康福祉部男女共同こども課 |
|---|-------|-----------------|-----|---------------|

| | | |
|-------|----|--|
| 事業の目的 | 対象 | 誰に、何に対して働きかけるのか 子ども（主に小学生） |
| | 意図 | 対象がどのようになることがねらいなのか ・体を使って遊びたい屋内施設を整備することにより、子どもの外遊び（家の外で遊ぶこと）の機会を増加させ、子どもたちが伸び盛りに相応しい運動量を確保できるようにする。 ・屋外活動を控えている子育て家庭が、放射線を気にすることなく、さらには雨天時においても子どもを遊ばせることができるようにする。 |
| | 結果 | どのような結果をもたらすのか ・子どもが安心できる環境の中で、のびのびと遊びたい屋内施設を整備することにより、子育て家庭の外遊びに対する不安が払拭されるとともに外遊びの動機づけとなり、子どもの活動が活発化し、子どもの体力の向上、肥満傾向の改善に寄与することになる。 ・子どもと保護者の外遊び機会の増加に伴い、親子のふれ合いが増え、子どもの健やかな成長にも寄与する。 |

| | | | | |
|--------|--|---------|---------|---------|
| 手 段 | ・ふれあいドームを解体し、新たに屋内子どもの遊び場を建設（ドーム型、総面積1,200㎡程度）する。施設には、遊びのスペース、トイレ（男女、多機能）、管理室を設ける。 ・遊びのスペースにはアスレチック等の遊具を設置するほか、安全性に考慮して人工芝等のクッション性の高い床面とする。 | 事業費（千円） | 平成25年度 | 284,445 |
| | | 平成26年度 | 0 | |
| | | 平成27年度 | 0 | |
| | | 平成28年度 | 0 | |
| | | 平成29年度 | 0 | |
| | | 合計 | 284,445 | |

| | | |
|------------|------|--|
| 担当課による自己評価 | 必要性 | 市民ニーズはあるか 平成24年度に市で実施した「復興に関する市民意向調査」において、「子どもの教育環境の改善について重要と思われる取組」として「屋内運動場の整備や、公園・プールなどの屋外活動の制約を補う施設整備」の要望が35%と一番多い。 |
| | 行政関与 | 市が積極的に関与すべき事業なのか 南相馬市福祉総合計画の中で、雨天時でも子どもをのびのびと遊ばせることができる施設の整備を検討することとなっている。 |
| | 有効性 | どのような効果が期待されるか 安心で魅力的な施設を整備することで、多くの子どもの利用が見込まれる。また、そのことにより子どもの活動が活発になり、子どもの体力の向上・肥満傾向の改善に貢献する。 |
| | その他 | 優先性等 市民アンケートで屋内施設整備ニーズが高く、子どもが安心して運動ができる場所と機会を提供することが必要であり、本事業の実施により、子育て世帯帰還の推進の一助となる。 |
| | 総合評価 | 必要性・有効性・優先性を認める。 |

| | | |
|-------|------|------------------|
| 委員会評価 | 総合評価 | 必要性・有効性・優先性を認める。 |
| | 付帯意見 | なし。 |

| | |
|------|---|
| 対応方針 | 本事業は、7月の定例庁議において、維持管理面及び高見公園との一体的利用の観点から、ドーム型の施設から開放型の施設に変更することとし、可搬型の遊具の設置については検討することとされた。 議会における予算成立後、計画に沿って事業を実施する。 （平成25年8月議会に予算計上し、承認された。） |
|------|---|